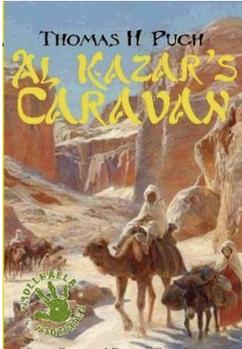




◆ 作家紹介: Thomas H. Pugh (トマス・H・プー)

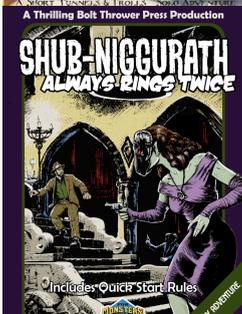
英国を拠点とするTRPG作家。『Tunnels & Trolls』の影響を色濃く受け、ユーモアとホラーを融合させた独特の冒険作品を多数執筆。彼の著作は、パルプ・ノワール、ラヴクラフト風ホラー、民間伝承を絶妙に混ぜ合わせた世界観を展開するのが特徴。出版社「Bolt Throwing Press」を運営し、ソロアドベンチャーや少人数向けシナリオを積極的に発表中。

◆ 代表作一覧



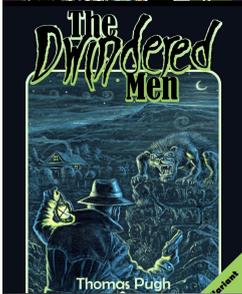
◎ Al Kazar's Caravan

426のセクションから成る大ボリュームのT&Tソロアドベンチャー。隊商に紛れたプレイヤーは怪物がうごめく異国の地「Kalliss-Morr」を目指す危険な旅へ。クラシックな冒険とシビアな選択が楽しめる傑作。



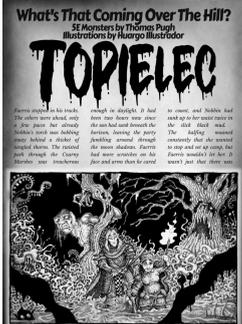
◎ Shub-Niggurath Always Rings Twice

「シュブ=ニグラスは二度ベルを鳴らす」-ラヴクラフト神話×探偵ノワールの異色作。プレイヤーはアーカム市とゴッサムシティを足して割らないような架空都市「Zenith City」の薄暗い裏路地で、旧支配者の陰謀に巻き込まれていく。4~6人向けのホラーシナリオで、タイトルはジェームズ・M・ケイン作品『郵便配達は二度ベルを鳴らす』のパロディ。



◎ The Dwindered Men

1920年代のイギリスを舞台にしたゴシックホラーRPGアドベンチャーで、ラヴクラフト風の神話的恐怖と古典的なTRPGスタイルを融合させた作品
古代の神が目覚めようとしている -1925年英国、霧と狂気に包まれた村で失踪事件の謎を追う。



◎ What's That Coming Over the Hill: Topielec

ポーランドの水の怪物「トピエレッツ」(スラブ神話ではヴォジャノーイという名でも知られる)を題材にした民話ホラー。沼と霧に満ちた辺境の村で、怪異と対峙するプレイヤーの運命は？ラヴクラフト風怪奇譚の影響が色濃い、短くも濃密なアドベンチャー。

◆ 入手方法

各作品は下記の通販サイトで購入可能:



DriveThruRPG (PDF販売):

<https://www.drivethrurpg.com/en/publisher/10370/bolt-thrower-press>

Bolt Throwing Press公式Facebook: <https://www.facebook.com/boltthrowerpress>